

たかはぎ 議会だより



平成27年 第1回臨時会

会期 4月24日

平成27年 第2回定例会

会期 6月12日～6月25日

議案に対する質疑 …………… 3

委員会審査報告 …………… 4

市政に対する一般質問 …… 6

高萩警察署管内青少年柔剣道大会

高萩中学校武道場

2015年8月5日 No.135

平成27年第1回臨時会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第33号	高萩市固定資産評価員の選任について	泉 幸一氏（北茨城市）の選任について、議会の同意を求めるもの	原案同意
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	地方税法等の一部改正に伴い、二輪車等税率引き上げの延期を行ったことを報告するもの	原案承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市国民健康保険税条例の一部改正について）	地方税法等の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げと軽減基準額の引き上げ等を行ったことを報告するもの	原案承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度高萩市一般会計補正予算（第7号））	歳入歳出それぞれに660万円を追加したことを報告するもの。内容はプレミアム付き商品券購入等経費。	原案承認
	高萩市農業委員会委員の推薦について	高萩市農業委員会委員に次の者を推薦した。矢代洋三議員、平正三議員、作山里美議員、大森要二議員	

第1回臨時会

平成27年第2回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第5号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの	—
報告第6号	平成26年度高萩市一般会計予算継続費繰越計算書について	公営住宅避難設備整備事業ほか2事業の翌年度繰越額を報告するもの	—
報告第7号	平成26年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	高萩中学校校舎耐震補強・改修事業ほか21事業の翌年度繰越額を報告するもの	—
報告第8号	平成26年度高萩市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	本庁舎災害復旧事業ほか1事業の翌年度事故繰越額を報告するもの	—
報告第9号	平成26年度高萩市水道事業会計予算繰越計算書について	建設改良費の繰越額及び事故繰越額について報告するもの	—
報告第10号	平成26年度高萩市工業用水道事業会計予算繰越計算書について	建設改良費の繰越額について報告するもの	—
報告第11号	高萩市新型インフルエンザ等対策行動計画について	高萩市新型インフルエンザ等対策行動計画について報告するもの	—
議案第34号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	石 平光氏（本町）が任期満了となることから、再任について意見を求めるもの	原案同意
議案第35号	人権擁護委員の候補者の推薦について	伊藤千珠氏（大和町）の推薦について意見を求めるもの	原案同意
議案第36号	高萩市総合計画条例の制定について	市政の指針となる市総合計画の策定根拠等を定めるもの	原案可決
議案第37号	高萩市建築確認申請等手数料条例の一部改正について	建築基準法等の一部改正に伴い、構造計算適合判定手数料の削除等を行うもの	原案可決
議案第38号	高萩市介護保険条例の一部改正について	介護保険法の一部改正に伴い、低所得層の軽減等を行うもの	原案可決
議案第39号	高萩市建築基準条例の一部改正について	建築基準法等の一部改正に伴い、大規模木造建築物の建築関連基準見直し等を行うもの	原案可決
議案第40号	平成27年度高萩市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれに3,792万円を追加するもの。内容は、松岡地区公民館太陽光発電設置事業、地域少子化対策強化経費等。	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第41号	平成27年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出額を変更せず、歳入の項目を変更するもの	原案可決
議案第42号	高萩市議会会議規則の一部改正について	出産に伴う欠席の規定を設け、女性が議員として活動しやすい環境を整備するもの	原案可決
意見書案第3号	気象事業の整備拡充を求める意見書の提出について	精度の高い気象情報を提供するため、予算等を増やし、気象予報の基盤の強化を求める意見書を国会及び政府に提出するもの	原案決議

議案質疑

議案第36号 高萩市総合計画条例の制定について

大足光司 議員

質問 高萩市第4次総合計画後期版として、より具体化された計画を策定する年である。

本条例制定の具体的な根拠と、議員の関わりや議決事項をどの範囲までにするのか考えを聞きたい。

企画部長 今条例では、基本構想・基本計画・実施計画から成ることとし、総合的、計画的な市政運営を図るためのもの、計画策定に当たり総合計画審議会へ諮問すること、基本構想は議会の議決を経て策定すること、総合計画は市の最上位計画であることを規定している。審議会は総合戦略の有識者会議と同一の委員さんとしてと考えております。

議決事項は従来の考え方とおりである。

基本構想は、総合計画の根幹となるものであり総合的、計画的に取り組んで行く必要があるため議会の議決を頂きたい。

議案第40号 平成27年度高萩市一般会計補正予算（第1号）

田所和雄 議員

質問 地域少子化対策強化経費605万円について、事業の目的、全体的な事業の内容とスケジュールについて伺います。

健康福祉部長 結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援のための事業をさらに充実させ、先駆的事业に取り組むことを目的としている。臨時職員を一名雇用し、市民会議運営補助、子育て応援団創設準備、支援事務を担当させる。

少子化対策のための中学生、高校生、若者世代対象のアンケート調査を実施し、その結果をもとに少子化対策市民会議において、若者世代の結婚、妊娠、出産等の意



つどいの広場

請願・陳情の審議結果

件名	結果
気象事業の整備拡充を求める意見書提出に関わる陳情	採択

識の把握と、少子化対策、子育て支援施策等への事業提案をいただく。子育て応援団については、子育て支援事業が効果的に実施できるよう、市民への周知、啓発活動、子育て支援団体相互の情報の共有と連携などにより、市事業へのお手伝いをしていただく。

委員会審査報告

総務産業委員会

6月22日、当委員会に付託された議案3件の審査と所管事項の審査を行った。

問 本市のふるさと納税の現状について、納税額、納税者への対応について伺う。

答 平成20年度から平成26年度までの7年間で、件数は64件、寄付金額は669万8000円となっている。返礼品は、1万円以上5万円未満の方にはブランド米「ひたち舞」又は野菜セット、5万円以上の方には花園牛を送っている。返礼品の拡充や返礼品の額については今後検討していく。



問 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入の事業の進捗状況と今後のスケジュールについて、また、情報漏えい防止の安全管理措置についても伺う。

答 マイナンバー制度導入のスケジュールは、本年10月以降に

通知カードと個人番号カード申請書の郵送があり、来年1月から個人番号カードの交付が開始される。

セキュリティ対策は、端末を、ネットシステムと切り離し、ウイルス対策ソフト、不正アクセス監視装置を導入するとともに、研修会等に職員を参加させ、情報防衛に努めていく。

市内施設の現地調査

平成27年5月28日

○平成27年年度第1回議会報告会での意見に基づき、5月28日に市内施設の現地調査を行った。

- ①高萩小学校への道路
- ②松岡小学校への道路
- ③松岡中学校への道路
- ④石舟地区の側溝
- ⑤大能く高萩CCく君田の道路



松岡中学校への道路

委員会視察報告

◇総務産業委員会◇

5月19日～5月21日

○石川県能美市

・地域振興と人口減少対策について

・観光行政について

○福井県越前市

・地域振興と人口減少対策について

・中心市街地活性化事業について

能美市は、①働く場所を増やす、②人口を増やす、③まちを元気にする、の三つを理由に、企業誘致に積極的取り組みでいる。産学官人的交流による高い技術の労働力、庁内情報共有による許認可



能美市での視察

のスピードアップ、市内企業への訪問による情報収集と設備増強の支援等により、企業誘致の実績を着実にしている。その取り組みにより、1970年から現在まで45年間、継続して人口が増加している。

越前市は、中心市街地活性化基本計画を策定し、都市機能の集積と魅力ある市街地の形成の両面からまちづくりを進めている。まちなか住宅取得支援事業、まちなか住宅団地整備補助事業等の施策による「まちなか居住」の推進、まちなかイベントや魅力ある商業の振興による「まちなか賑わい」の創出が徐々に成果を上げている。また、新庁舎の現在地建設を決定し、中心市街地に位置する新庁舎周辺の道路整備を検討している。



越前市での視察

文教厚生委員会

6月19日、当委員会に付託された議案3件、陳情1件の審査と所管事務の調査を行った。

○平成27年度高萩市一般会計補正予算（第1号）

問 ひとり親家庭等学習応援経費ということで556万円計上されております。事業内容と対象児、対象児童数について伺う。

答 ひとり親家庭等に対して子ども一人当たり1万円分の図書カードを配布する事業であります。対象者は、平成27年4月分の児童扶養手当支給世帯の児童と平成27年4月分の生活保護世帯に属する平成27年4月1日までに生まれた児童であります。平成27年4月分の児童扶養手当支給世帯の児童312世帯、523人。生活保護世帯に属する児童2世帯5人です。

問 松岡地区公民館太陽光発電設備導入事業2100万6000円について目的と発電力について伺う。

答 補助金を活用いたしまして、松岡地区公民館に太陽光発電設備を導入し、非常時における避難施設として強化を図るとともにCO₂の削減に努めるも

のでございます。発電能力につきましては、10キロワットとなっております。



松岡地区公民館

○平成27年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
問 内容は低所得者保険料軽減措置ということだと思っておりますが、何人分の金額か。
答 対象の見込み人数としまして、1556人になります。



所管事務調査（高浜スポーツ広場）

委員会視察報告

◆文教厚生委員会◆

6月30日～7月2日

○北海道恵庭市

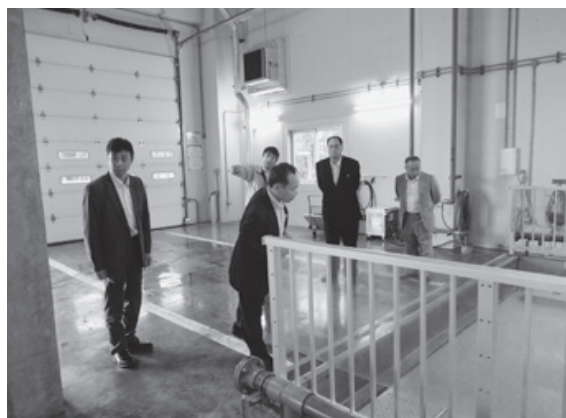
・ごみ処理について

○北海道砂川市

・高齢者対策について

・ごみ処理について

恵庭市は、市民提案を基に「循環型社会形成推進施策」として、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでおり、その一環として、家庭の生ごみを分別収集し、既存のし尿処理施設及び下水終末処理場の設備を活用してバイオガス発電を行い、施設内の暖房及び



恵庭市での視察

電力に利用しています。このことにより最大、施設電気量の3分の1程度がまかなわれています。家庭系生ごみを利用したバイオガス発電としては全国でも最初の施設で、維持管理経費の削減と環境にやさしい取り組みを行っていました。

砂川市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、高齢者いきいき支え合い条例を制定し、交流と見守りの施策を推進してまいりました。行政と地域とが情報を共有し、連携して、見守りを行うために社会福祉協議会を通じて自治会等に情報提供するとともに、地域包括支援センターが中心的役割を担うことにより、各地域に合わせた見守りの体制を組み上げてまいりました。



砂川市での視察



平 正三 議員

ごみ処理問題について

質問 可燃ごみ処理をどのような見通しをもって広域化をすすめるのか。

市長 現段階では示す状況ではございませんが、引き続き広域化に向けた検討協議を進めて参りたい。

質問 これまでの経過の中で可燃ごみ処理を前市長は広域化を北茨城市に断わり、また、日立市の委託を断わり、民間業者に切り替えた。広域化をするのは非常に難しい状況にあり、単独処理を検討すべきと思う。

市民生活部長 広域化の検討の中で調査研究してまいりたい。

デマンド(乗合い)

タクシーについて

質問 高齢者や障害者が買い物や病院に通うのに東海村ではデマンドタクシー制度が非常に役に立っている。実施に向けて取り組んでもらいたい。

企画部長 市の公共交通体系全体の見直しについて調査検討していきたい。

地域コミュニティについて

質問 常会加入世帯の減少化が進む中で、防犯灯の維持管理をどうするのか伺いたい。

市長 通学路危険箇所の防犯灯は市が直接管理する。各常会等の防犯灯はLED化を働きかけ負担の軽減を図るとともに負担割合の検討を開始したい。



防犯灯

道路問題について

質問 3・3・9号石滝赤浜線の神宮司団地内の十字路に信号機の設置及び速度制限標識の設置と市道1403号線浜野町踏切から高萩駅東口の道路の改修と速度制限標識の設置について伺いたい。

産業建設部長 あおぞら保育園入口の十字路への信号機設置と規制標識は関係機関と協議していききたい。市道1403号線は計画的な改修を検討していきたい。

総務部長 1403号線の速度規制標識は高萩警察署と協議していきたい。



寺岡七郎 議員

学校の適正配置について

質問 よりよい教育環境のあり方委員会は教育委員会から学校の小中学校適正配置について、統合後の跡地活用について諮問を受け、学校は集団で学び生活するところ

に最大の特色がありさまざまな教育活動を通じて話し合う、助け合う、励ましあう、喜び合うなど貴重な体験をすることが人格を形成上で欠かすことができない。そのような結論に達して平成21年1月21日付けをもって答申をしているか、その後は、あり方委員会が答申を出してから5年を超える。統合問題は時間をかければよいという問題ではない。ここまで長引いているのは、地域の問題、あるいは父兄の問題いろいろあると思いますが、統合問題を考えるのは子供を中心に考えざるを得ない。

教育長 君田小中学校の児童生徒数は急激な減少傾向にあり数年後には中学校で在籍生徒数が2名となる見込みであり、教職員の適正な配置について困難になる状況が出てまいりました。私の考えとしては、学校が単に個人に勉強を教える場ではなく、集団の中で多様

な考え方に触れ認め合い協力し合い切磋琢磨することを通じて思考力、表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせる場であり、そのためには一定の児童生徒数が必要であると考えております。このような状況から児童生徒のよりよい学習環境の確保に向け本年度中には新たな方向性を決定してまいりたいと考えております。



君田小学校田植えの様子

- その他の質問事項
- FM放送について
- 空き家対策について



今川敏宏 議員

高萩創生について

質問 高萩創生のポイントは、いかに女性の意見を反映できるかだと思います。取り組みを伺います。

市長 総合戦略等の立案に当たりましては、4名の女性を入れた有識者会議を設置し、さまざまなご意見をいただいています。また、高萩市まち・ひと・しごと創生本部では、しっかりと女性の意見を反映するためにリーダーシップをとってまいります。

高萩の夏について

質問① 高萩の海について、海水浴場の駐車料金の無料化や、パーベキュー解禁、アプローチ道路周辺整備できないか。高戸小浜の整備はどう考えているか。頓挫したCCZ計画の後始末をどう考えているか伺います。

産業建設部長 海水浴場の駐車料金の無料化とパーベキューについては検討します。アプローチ道路は環境美化に努めます。高戸小浜は県、関係省庁と協議し景観保全に努めます。CCZ関連は利活用と都市計画道路の計画変更を進めています。

質問② 草刈り除草について、市全体の除草計画を作成、公開し、課を超えて検討し、PDCAを適用しながら、効率を上げるべきだと思いますが見解を伺います。

企画部長 施設と時期を一覧表で内外に示すよう検討します。

質問③ 暑さ対策について、特に各地域集会所の対策を伺います。

総務部長 駒形集会所にグリーンカーテン設置、全施設に熱中症対策のポスターを掲示、イベント等にミストシャワーを貸出します。



高戸小浜



鈴木英樹 議員

道徳の教科化について

質問 道徳の時間を教育課程上、特別な教科、道徳として位置づけられました。なぜ改正が今なのか、そしてなぜ必要か、また、改正に伴う教育現場の対応と、道徳教育に対する児童生徒の評価について伺います。

教育長 これまでの道徳の授業は、教科化されていなかったため、指導する内容に偏りがあったり、道徳授業を軽んじるなど課題がありました。また、近年、重大な少年犯罪やいじめ問題の多発もあり道徳教育の充実が求められた理由でもあります。評価については、数値による評価は行わず、現在、記述式の評価を行うことで示されています。



二宮尊徳像

質問 評価は記述式である。具体的には、一人一人に記述式で記載して渡すということですか。例えば通知表の中に書くと言うことで、そうなると同じような答えというか、生徒に対する評価をして構わないとなる。どうも、その点が分からないので再度伺います。

教育長 今回の道徳評価の視点としては、児童生徒の良さを十分引出すような評価を記述することが適切だと思っております。

質問 今日この社会情勢を考えると、道徳教育は欠かすことのできない大事な授業であると認識しております。したがって、新学習指導要領の内容に沿った教育をお願いいたします。



高萩中学校

○その他の質問事項
学校教育について



大森要二議員

観光地の接客と実体

について

質問 花貫溪谷、多くの来場者を呼べるような工夫ができる唯一自然環境が宝になっている。これらの観光資源を今、行政が必死で整備し、地方への新しい人の流れをつくる観光地域づくりが、全国が進めている地方創生の施策の中で地方の経済活性化と交流人口を促進する観光振興策があると思うが、観光資源の整備、その実体は、観光PRをしているにもかかわらず、現場の実体とは全くバランスが取れていない。接客側の感性が疑問である。

市長 観光施設の老朽化、とりわけトイレの環境については、高



萩市のイメージを左右するものである重要なことであることと認識を致しております。



万葉の道のベンチ

質問 汐見滝キャンプ場、小滝沢キャンプ場、けやき平キャンプ場最後に万葉の道、一日かけて、全て目につくところを写真に収めてきたが、破損、危険防止、不衛生面ではすべて改善が見られず、花貫溪谷紅葉まつりの事前PR活動、県内外のイベント出演による宣伝や県内外の新聞、雑誌を使った広告、東京、千葉、埼玉向けテレビコマーシャル。この様な観光PRをしているにもかかわらず、現場の実体とは全くバランスが取れていない接客、おもてなしですね。一度訪れた人がもう一度来たい、観光に力が入った市だと口コミが出る観光地を望みたい。

産業経済部長 観光施設の管理状況、るるご指摘がございました。

現在の高萩市の管理状況ということで、観光施設においては大きく工事、修繕に分けて管理をしている状況でございます。



大足光司議員

活力あるまちづくり

について

質問 まちの社会環境が大きく変化する中、暮らしを支える産業が継続的に発展できる取り組みが市民から求められている。戦略的、総合的な計画を策定するにあたり、新たな活力あるまちづくり構想を強く検討すべきではないか。それらについて市長はどのように描いているのか。

市長 地域の活力とは働く場があり、人が集い賑わいにあふれ、誰もがいきいきと生活できることと考えている。市民と協働によるイベントの開催や駅伝大会のゴール地点を駅前にする等、賑わいづくりに寄与してきた。しかし一過性のものではなく、多くの市民からは継続した賑わいを取り戻すことが求められている。民地を含めた土地の有効活用等、新たな活性化策に取り組むことが必要。そのため総合戦略有識者会議をはじめ、広く関係者の意見を反映したまちづくりが図れる施策を盛り込んで参りたい。

質問 高萩駅前大型店跡地について、地権者との話し合いなど進捗

状況はあるか。

市長 地権者等、各方面の方々に働きかけを行っており、最近になり具体的な引き合いも出てきつつある。

引き続き積極的な対応を図って参りたいと考えている。

質問 日本加工製紙工場跡地については、企業側とはどのような話をされているのか。

市長 地権者等から土地の利活用に関する案が打診されたところであり、市もその対応について検討を開始したところである。「活力ある街づくり」の観点から跡地の利活用に関し、適切な対応を図って参りたい。



高萩市街地

その他の質問

○都市計画道路3・5・2号線高萩停車場線について

○たかはぎハッピーサポート事業について



岩倉幹良 議員

建設工事指名競争入札

について

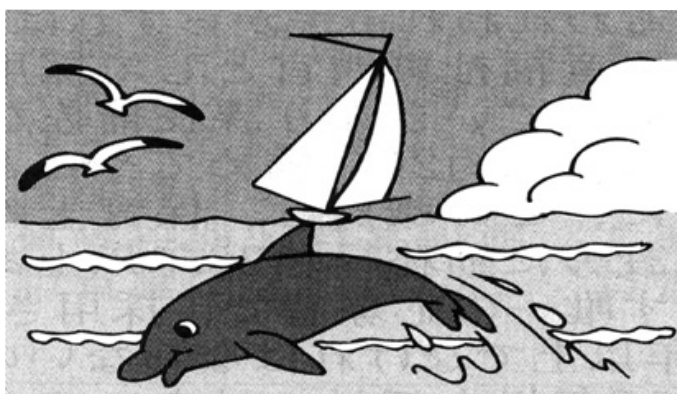
質問 災害廃棄物仮置場整備工事において、中止された最初の入札の指名で予定価格が238万円なので規定どおりB・Cランクであったが、予定価格が同じ238万円であったにもかかわらず、2回目の指名がA・Bランクに変更された。どんな理由からか。

市民生活部長 工事過程において廃棄物の発見が予想されたため、一般的な整備工事とは異なり、市の監督員と随時協議しながら、散逸や取り残しの防止に留意して注意深く施工する必要が生じたため、ランク上位の能力が必要と判断した。

コミュニティFM放送

について

質問 高萩市は、経常収支比率が97・5%、将来負担比率共に県内ワーストワンである。1年後には、一時的にせよ100%を超えるという。このような高萩市が、民間団体であるNPO法人に事業費の約75%にあたる放送委託料を払い、その事業を支援してい



る。財政に余裕があつてやることでしたら大いに結構なことでありますが、財政力が最悪の状況下にあることを考えたら、再免許申請を取り止めて、その財政を別の事業に振り向けるべきである。

市長 今後のたかはぎFMに対する支援の考え方につきましては、市議会議員12名の連名による補助金存続に関する要望書が提出されたこと、また、今議会のご議論、そしてNPOたかはぎFMが作成する免許更新のための申請書の内容を見た上で判断したい。

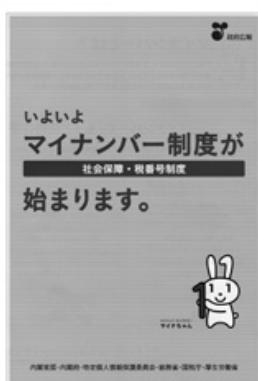


小宅 誠 議員

マイナンバー制度の

取り組みについて

質問 社会保障と税の一体改革として、政府は、行政機関が管理する個人情報と同じ人の情報であることを正確かつスムーズに確認する基盤となり、国や地方公共団体で分散管理する情報の連携がスムーズになり様々なメリットがあるとして示している。このマイナンバーは基礎年金番号と結び付けられることになっている。住基カードとマイナンバー制度との関連性はどこにあるのか。また、作業の進捗状況はどのようになっているのか。



企画部長 同じ住民基本台帳の情報を扱う点では関連性はあるが、システムとしては独立した、全く別のものとなります。10月5日の施行に向け住基ネット、地方税務システム、福祉関係システム等の

改修を進めている。また、ナンバーカード交付への課題は市民の皆様が制度を理解していただくことが一番と考える。

原子力災害、避難計画

について

質問 東海第二原発で福島と同じような事故が起きたら、被曝しない避難できますか市民は。避難先の確保はできるのか。県広域避難計画に対し、市としても問題点は見えていいますか。

市民生活部長 県内の避難先は北茨城市として、事務レベルでの調整をしている。県が課題としているスクリーニングの実施体制及び安定ヨウ素剤の配布体制の確保や複合災害への対応などは、市においても課題と認識している。



原子力災害避難用バス

その他の質問事項
○市の人口減少問題について



菊地正芳 議員

消費者教育の推進について

質問 消費者生活環境が多様化、複雑化している中で消費者トラブルが急増している。子供から大人まで一人一人が消費者として身を守る知識と能力を身につけ行動する事が大切です。まず消費生活センター設置条例と増え続ける消費者被害を防止し、消費生活の安定と向上を目的とする「消費生活条例」を制定すべき、更には消費生活サポーターの育成について見解を伺う。

産業建設部長 消費生活センター設置条例は、本年度中に制定して参ります。「消費生活条例」は他市を参考に調査研究、検討をして参ります。消費生活サポーターの育成は重要であると認識しておりますので調査研究して参ります。



情報モラル（道徳意識）・情報リテラシー（活用能力）教育について

質問 神戸市では、警察や高校・大学、教育委員会が協力して、子供たち自身に考えてもらおうと、スマートフォン等の授業が始まった。本市としても実施すべきと思うが見解を伺う。

教育長 子供たち自身でルールを決めて、自分達で守ると言う視点はとても重要です、他市の取り組みを勘案しながら指導して参ります。



軽中度難聴児補聴器購入費助成について

質問 保護者の経済的負担を軽減すると共に、早期に補聴器を装着する事で、児童の成長期における言語発達や、コミュニケーション能力を高める事ができる。見解を伺う。

健康福祉部長 茨城県の助成事業を活用し、本年10月より補聴器購入助成事業を実施できるよう準備を進めております。



田所和雄 議員

高萩市総合戦略の策定について

質問 高萩市総合戦略策定事業の進捗状況と今後の進め方について伺う。また、創生本部のしごと部会の検討分野である、安定した雇用創出による活力ある街づくりについて、企業の誘致並びに成長を図る方策を検討し、雇用創出を図ってはと考えるが、所感を伺う。

地方創生政策担当部長 まち・ひと・しごと創生本部の下にグループリーダー級の職員で検討部会を設置し、まち部会は総務課長、ひと部会は社会福祉課長、しごと部会は企画広報課長を部会長として、担当部門の検討を進める。また、地域関係者12名からなる有識者会議を設置し、幅広い御意見をいただいた。総合戦略は、本年10月までに策定する。

企画部長 市内立地企業の中には、新たな工場用地の確保や施設造成を行った例もある。今後は、市内企業へのヒアリング調査なども含めて、雇用の創出を検討する。市長 若手の職員の意見等々を吸い上げながら、金太郎あめにならない、高萩に即した総合戦略というものを作り上げていきたい。

高萩市行財政健全化計画について

質問 高萩市の財政の現状認識と、28年度以降も行財政健全化計画を実施するのか伺う。

総務部長 経常収支比率等は、県内で最も高いが、両公社の債務解消等、将来への負担の軽減を図った結果としての数値である。

企画部長 土地開発公社の経営健全化債の償還期間は平成30年まで、また住宅公社の第3セクター債の償還期間は平成42年までので、計画通り償還できるよう、引き続き行財政健全化の取り組みが必要だと考える。



平成10年から17年間にわたり手つかずになっていたグリーントウンつな住宅団地粗造成地（13.1ha）



我妻康伸 議員

道路管理について

質問 市道102号線、島名地内大友製作所付近からだるまや商店付近までの工事スケジュールを報告願います。



産業建設部長 延長371メートルの舗装打ちかえ工事であります。工事期間につきましては、7月中旬ごろに着工いたします。年内完成をめどに実施してまいりたいと考えております。

サンライズカントリークラブ跡地開発について

質問 設置面はほこりが舞い上がらないよう何らかの対応をするのか、工事内容を教えていただきたい。

産業建設部長 のり面保護につきましては、種子吹付などを施すこと、表面雨水排水対策といったしましては、既存の調整池を利用して排水量を調整することなど、ゲリ

ラ豪雨などにより周辺環境に影響を及ぼさないよう管理していくことを県に確認しております。



サンライズカントリークラブ跡地

高萩市の地方創生について

質問 高萩市に自然や文化、歴史、産業は高萩市の財産であると思っております。あるものに光を当て、高萩の創生につなげることが重要かと思いますがいかがでしょうか。

市長 既存のものに光を当てるべきということも地方創生の新たな視点であると思っておりますし、また、移住関係では農業従事者に対する移住の促進ということも、創生の中で考えられる施策ではないかと考えております。

震災復興等対策

特別委員会

6月23日 第40回委員会

1 本庁舎について、執行部から次のような説明がありました。

(1) 本庁舎における自然(再生可能)エネルギー等の活用は、二酸化炭素の排出削減と国産エネルギーの自給率向上に貢献することになるが、太陽光発電以外は大きな設備投資が必要となり採用できないため、自然エネルギーを利用した省エネルギー設備活用することで、二酸化炭素の排出削減を行う計画とする。

①屋上太陽光発電設備 20kw/h
②昼光センサーで自然採光の促進

③地下免震ピットで地中熱の活用

④効率の良い通風窓で自然通風
⑤階段室利用で効率的換気促進
(2) 議場システムについては、音響設備、カメラ、大型モニター、難聴者支援設備等のシステムの概要と概算費用の説明

2 高萩市地域防災計画について、執行部から防災計画の冊子が配布され、これまででの変更点について説明がありました。
・避難指示・勧告の基準について
・原子力災害避難バスについて

・福祉避難所について
・協力井戸について
などについて意見があり、引き続き検討することになりました。

7月14日 第41回委員会

前回執行部から説明を受けた本庁舎に関すること、地域防災計画に関するについて、各委員から質問と意見を伺い、本庁舎については、自然エネルギー等の活用計画を了承し、議場システムについては、議席の並べ方や図書室の位置を変更し了承しました。
地域防災計画については引き続き検討することとなりました。



市営高浜住宅津波避難階段

議会報告会を 開催しました

4月25日(土)・26日(日)の二日間にわたり、議員が3班に分かれて、市内6会場で議会報告会を開催しました。

市議会は、市民に身近な代表機関として、公平性と透明性を確保し、市民に開かれた信頼される議会を目指して、議会基本条例を制定し、この条例に議会報告会を行うことを定めています。

議会報告会は、議会自らが地域に向き、直接、市民の皆様議会活動の状況を報告し、市政に関する情報を提供するとともに、皆様の関心や意見をお聞きするため開催するものです。

今回、議会の報告の内容は、平成27年度予算を議決した3月の定例会を中心にして、その後に見交換を行い、出席者の皆様からたくさんのご意見をいただきました。それらを整理し、議会に関するものと行政に関するものに振り分けをして、行政に関するものは市執行部へ伝えました。また、今回、ご意見が出たものの中から、いくつかについて現地の視察を行いました。

なお、当日の様子はたかはぎFMで翌週に放送いたしました。



松岡地区公民館



島名多目的研修会館



総合福祉センター



高浜スポーツ広場



大能生活改善センター



上君田生活改善センター

政務活動費の支出状況

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、議員に対して交付されるものです。本市議会議員には、議員一人当たり月額1万円が、年度当初の4月に1年分12万円が交付されます。各議員は、毎年、領収書を添付し収支報告書を議長に提出しています。また、残額は市に返還しています。収支報告書は、議会事務局で閲覧できます。

氏名	項目	支 出 額					交付額
		調査研究費	広報費	会議費	資料作成費	資料購入費	
我妻 康伸							0
飯田 毅昭					47,600	45,478	93,078
小宅 誠			18,650	5,680		66,333	120,000
岩倉 幹良	6,710	43,200		6,867	49,480	13,743	120,000
大足 光司		8,640	8,000	50,683	16,737	31,969	116,029
大森 要二		39,185			75,521	5,294	120,000
田所 和雄					78,976		78,976
菊地 正芳					35,880	65,080	100,960
吉川 道隆		120,000					120,000
今川 敏宏		13,132			37,116	32,400	82,648
鈴木 英樹				12,538	79,756	27,706	120,000
作山 里美		107,200			9,600	3,200	120,000
平 正三		120,000					120,000
矢代 洋三					118,512	1,488	120,000
寺岡 七郎					37,116	82,884	120,000
篠原新一郎					82,141	37,859	120,000

※各項目の内容は次のとおりです。

項 目	内 容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
広 報 費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
会 議 費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
事 務 所 費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

30日	29日	22日	16・17日	14日	9日	2日	7月	25日	17日	12月	5日	4日	3日	6月	28日	27日	25日	20日	15日	5月	議
議会全員協議会	議会運営委員会	議会広報委員会	研修会（千葉県千葉市）	議会広報委員会	震災復興等対策特別委員会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	茨城県市議会議員会正副会長会	議

永年勤続議員表彰



全市市議会議長会・茨城県市議会議長会総会において、永年勤続議員（40年以上）として、矢代洋三議員が市政の発展に尽くされたことに対し表彰を受けられました。

傍聴においでください

第3回定例会（9月）予定

- 9月4日（金） 本会議 議案上程
- 7日（月） 本会議 一般質問
- 8日（火） 本会議 一般質問
- 10日（木） 本会議 議案質疑
- 11日（金） 文教厚生委員会
- 14日（月） 総務産業委員会
- 15日（火） 決算特別委員会
- 16日（水） 決算特別委員会
- 17日（木） 震災復興等対策特別委員会
- 24日（木） 本会議 採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議会だよりが、下記のサイトでも見られます。
（スマホの場合、専用のアプリが必要です。）

- ・イバラキイーブックス
<http://www.ibaraki-ebooks.jp/>
- ・ちいき本棚
<https://sidebooks.jp/backshelf/>

議会広報委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 大足光司 |
| 副委員長 | 田所和雄 |
| 委員 | 今川敏宏 |
| | 岩倉幹良 |
| | 小田宅 |
| | 飯田毅 |
| | 我妻康伸 |

市民の声

島名62歳 男性

「日本の人口はもう二度と戻らない」これはある週刊誌で取り上げられた話題ですが、高萩市でもかつては3万5,000人を超す住民がいました。

現在では約2万9,000人と大幅に減少、炭鉱華やかだった当時のことが思い出されます。

馬市が開かれると、高萩劇場前の通路は露天商で埋まり、身動きも出来ないほどの賑わいを見せたものです。日常の暮らしは貧しくとも活気のある街でした。懐かしく思い出されます。

それが今では25年後にはさらに減って1万8,200人にまで減少するといわれております。こうした減少を食い止めるには、魅力ある街、住んでよかったといわれる街を創造することです。企業を誘致して若者が働ける場をつくること。そして若者が安心して子どもを育てられる環境を整えること。いずれも大変難しい問題ですが、これらなくしてわがまちの発展はありえない。地方創生が叫ばれる中、妙案は果たしてあるだろうか。これからの市政に大いに期待しています。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	たかはぎFM
本会議	○	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	○	○
決算特別委員会	○	○
震災復興等対策 特別委員会	○	

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

編集後記

市議会議員の通常選挙が10月25日と決定された。選挙前最後の「議会だより」の発行となります。この4年間、定例会毎に議会の情報をお伝えしようと委員全員で懸命に努力してきたつもりですが、市民の皆さんにはどう映ったでしょうか。私たちも十分にその責めを果たせ得たのかと振り返りますと確たる自信がありません。しかし、市民の負託を受けた議員は、それぞれに価値観を持ち、それぞれが異なった意見を持っております。そこから生まれる熱い論戦を、多少なりともお伝えできたものと自負しております。
（岩倉幹良記）